

墨田区議会 Liberal Democratic Party 自由民主党だより

2020 4Apr.

■発行/墨田区議会自由民主党(墨田区吾妻橋1-23-20)
 ■発行責任者/加藤 拓 ※ご意見・ご要望をお待ちしております。

ホームページもチェック! <http://jimin-sumida.jp/>

4/7 緊急事態宣言が発令されました

首相により指定された都道府県知事は以下の措置が実施可能になります

不要不急の外出自粛を要請	医療用品やマスク、食品の売り渡し要請、収用、保管命令
学校や福祉施設などの使用停止の要請や指示	臨時医療施設の土地や建物の強制使用
音楽やスポーツなどのイベント開催制限の要請や指示	運送事業者に緊急物資の輸送要請、指示

墨田区での新型コロナウイルス感染例について

区内にある企業の対応例

3月12日(木)に区内にある企業にて、そこに勤務するパートナー会社の社員1名が新型コロナウイルスに感染していることが確認されました。

- 調査** 感染者の行動履歴を調査し、同フロア勤務の36名が濃厚接触者として特定されました。濃厚接触者のうち特に距離が近い24名がPCR検査対象となり、3月16日(月)に検査を実施しました。その結果、**3月19日(木)に全員が陰性**と確認されました。
- 消毒作業** 所轄保健所の指導のもと当該フロアを消毒し、3月16日(月)夕方より使用を再開しました。
- 経過観察** 感染者は入院治療中であり、快方に向かっています。濃厚接触者は健康状態について経過観察を継続しており、健康状態は良好です。当該フロアの在籍社員は2週間(3月25日(水)まで)の在宅勤務を実施しています。

墨田区新型コロナウイルス感染症に関する電話相談窓口

☎0570-666-329(ナビダイヤル)

月曜日～金曜日の午前9時～午後5時
*祝日を除く

休日・夜間の電話相談 都・特別区・八王子市・町田市合同電話相談センター

☎5320-4592

午後5時～翌日午前9時
*土・日曜日、祝日は終日

墨田区保健所の対応の流れ

勤務先等に対する積極的疫学調査の実施

(1) 飛沫感染対応: 患者の勤務状況、最終出勤日、行動履歴の確認や勤務先等の見取り図などにより、フロアの状況、座席の配置等を確認して濃厚接触者を決定。
 (2) 接触感染対応: 消毒についての指導: アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウム等による不特定多数が触れる場所(ドアノブやスイッチ等)の消毒について指導。

- 調査の前に準備をしておくこと
 - ・患者が在籍する部署のフロアの見取り図(座席表を含む)
 - ・保健所との連絡窓口担当者を決めておく

墨田区保健所から濃厚接触者に対して自宅待機を要請

ただし、現時点での対応であり、今後自宅待機の期間等、変わる場合があります。

- 濃厚接触者に対しては、最終接触日から2週間の自宅待機を要請
- 対象企業に対して、濃厚接触者のリストの作成を依頼(氏名、生年月日、年齢、住所、電話番号)
- 濃厚接触者に対しての健康観察: 原則毎日の検温を依頼し、勤務先で取りまとめの上、14時までに保健所に連絡(メール)をするようお願いいたします。また、発熱等体調不良の時には自宅住所を管轄する保健所が設置した「帰国者・接触者相談センター」に連絡するように伝えてください。
- 濃厚接触者について自宅住所を管轄する保健所に対して、**墨田区保健所から情報提供を行うことを伝えてください。**

感染症対策へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやるよう

- ① 換気の悪い密閉空間
- ② 多数が集まる密集場所
- ③ 間近で会話や発声をする密接場面

新型コロナウイルスへの対策として、**クラスター(集団)の発生を防止することが重要**です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

<p>樋口敏郎 活力と笑顔のあふれるまち「すみだ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企画総務委員会 委員長 ●行財政改革等特別委員会 <p>墨田区八広 3-6-3 090-6043-3869</p>	<p>沖山 仁 夢を求めて、生きる事の楽しさを!</p> <ul style="list-style-type: none"> ●副幹事長・議会運営委員会 ●産業都市委員会 委員長 ●災害対策特別委員会 <p>墨田区京島 1-52-11 03-3617-6558</p>	<p>田中 邦友 夢と希望の持てる墨田区を次の世代へ!</p> <ul style="list-style-type: none"> ●墨田区議会議長 ●産業都市委員会 ●災害対策特別委員会 <p>墨田区八広 1-39-17 03-3616-7014</p>	<p>木内 清 清心・実行・実績 「清心動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●区民福祉委員会 副委員長 ●行財政改革等特別委員会 <p>墨田区亀沢 2-12-3-501 霜鳥ビル 090-3060-8434</p>
<p>しもむら 緑 皆様の安全と、教育に力を入れていきます!</p> <ul style="list-style-type: none"> ●副幹事長・議会運営委員会 ●地域子ども文教委員会 ●議会改革特別委員会 委員長 <p>墨田区亀沢 4-22-8-608 080-2443-0212</p>	<p>佐藤 篤 自己実現できる墨田区へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予算特別委員会 委員長 ●地域子ども文教委員会 副委員長 ●議会改革特別委員会 <p>墨田区京島 3-18-4 090-8567-8293</p>	<p>加藤 拓 今期もよろしくお願ひします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●幹事長・議会運営委員会 委員長 ●企画総務委員会 ●議会改革特別委員会 <p>墨田区緑 1-2-12-501 090-8510-6489</p>	<p>福田 はるみ スマイルすみだ 笑う門に福、春来る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企画総務委員会 ●災害対策特別委員会 委員長 <p>墨田区立花 3-2-6-302 03-3618-6125</p>
<p>藤崎 じゅんじ やる気・元気・藤崎ジュンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域子ども文教委員会 ●災害対策特別委員会 <p>墨田区向島 5-42-3 03-3623-0010</p>	<p>たきざわ 正宣 人にやさしい街 墨田へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●区民福祉委員会 ●議会改革特別委員会 <p>墨田区墨田 5-34-11 03-5247-5202</p>	<p>坂井 ひであき 子供の笑顔のたえない街を目指して行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予算特別委員会 副委員長 ●産業都市委員会 ●行財政改革等特別委員会 <p>墨田区石原 3-16-1 090-2654-5478</p>	<p>坂井 ユカコ 区民自線の素直で確かな行動力で</p> <ul style="list-style-type: none"> ●副幹事長・議会運営委員会 ●区民福祉委員会 ●行財政改革等特別委員会 委員長 <p>墨田区東駒形 2-2-4 090-3617-4313</p>

すみだ自民党議員紹介

お気軽にご意見をお寄せください。
 墨田区議会自由民主党 <http://jimin-sumida.jp/>

編集室より
 今年度より、令和すみだの かんだすなお議員を迎え、統一会派 墨田区議会自由民主党・令和として13名で開かれた区議会を目指し、区政報告会、出前議会など様々な取り組みを行って参ります。何かご意見等ございましたら いつでもお問合せください。

かんたすなお
 墨田区の皆さま、こんにちは。区議会議員の「かんたすなお」でございます。昨年4月の区議会議員選挙で、皆さまからの温かいご支持を得て、初出馬初当選させていただきました。これまでは一人会派「令和すみだ」として活動して参りましたが、この度ご縁があり、**令和2年4月1日から自由民主党と統一会派を結成**させていただいております。諸先輩のご指導を仰ぎながら、今まで以上に頑張る覚悟です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

令和元年度2月議会地域子ども文教委員会が3月17日、30日に行われました。今回は、付託議案6議案、付託陳情3件、一般会計補正予算、報告事項9件と多くの審議を行いました。特に、区へ移管される際、曳舟文化センターを引き続き今まで同様に区民の皆様が使用できるよう、条例を修正可決しました。

墨田区子ども読書活動推進計画について、我が会派が以前から求めている「本の冊数と質」について再度求めました。

- 曳舟文化センター条例について
- すみだ北斎美術館の指定管理について
- ひきふね・すみだ保育園の指定管理について
- 墨田区子ども読書活動推進計画の策定について

その他の項目



藤崎こうき委員 佐藤篤副委員長 しもむら 緑委員

地域子ども文教委員会

常任委員会ダイジェスト

区民福祉委員会

たきざわ 正宜委員 木内 清副委員長 坂井ユカコ委員



保健衛生を司る区民福祉委員会では、新型コロナウイルス対応に多数の質疑がなされました。わが会派からは、①医療機関や介護施設のマスク・消毒液の在庫状況の把握と的確な支援、②重篤化が懸念される高齢者への感染予防の徹底周知を求めました。

報告事項 ●後期高齢者医療制度の財源構成 ●旧文花小学校で運営中の児童発達支援・放課後等デイサービス「すみだステップハウスおおぞら」移転計画 ●新保健施設等複合施設(※)における総合窓口の考え方について。

(※)令和5年度、本所・向島両保健センターが統合され、新たに「新保健施設等複合施設(仮称)」が開設されます。建物には保健所のほか、子育て支援機関、教育支援機関、災害備蓄倉庫なども併設される予定です。

- 新型コロナウイルス対策全般について
- 医療機関・介護期間のマスク、消毒液不足について
- 生活保護のケースワーカーの増員について
- 学童における支援学級への理解について
- ケアプラン有料化に関する陳情について

その他の項目

令和2年4月1日付で用途廃止される錦糸土木事務所の跡地活用について報告がされました。この土地は錦糸町駅に近く、ビジネス・観光の面での活用により、高い効果が期待できる立地です。新たな産業振興モデルの創出や、昼間人口・関係人口の増加等を図る観点から、「産業振興を通したまちづくり」に寄与する施設として活用する方針です。令和2年10月引き渡しの予定で、50年間の定期借地権設定契約で公募により事業者を選定します。

- 令和元年度墨田区一般会計補正予算について
- 新型コロナウイルス感染症に対する区の対応について
- 大学誘致の進捗状況等について
- 内部統制制度について

その他の項目



福田はるみ委員 樋口敏郎委員長 加藤 拓委員

企画総務委員会

産業都市委員会

田中 邦友委員 沖山 仁委員長 坂井 ひであき委員



隅田公園が再整備オープンし、今までの隅田公園のイメージを変え休日イベントだけに抛らない日常のにぎわい創出に資する、明るく開放的な広い芝生広場のある公園となりました。墨田区と浅草側を結ぶ歩行者専用橋や北十間川も親水テラスとして整備され、東武鉄道の高架下に飲食店などの様々な施設も出来て公園と一体となり、にぎわいの創出のみならず観光回遊性の向上も期待されます。今後、この公園が多くの区民に親しまれ愛される利用しやすい公園になるように、自転車の駐輪場や北側部分のあり方等について取り組んでまいります。

- 大規模自然災害時の廃棄物処理計画案について
- 産業観光マスタープランの検討経過について
- 企業向け新型コロナウイルス感染症対策について
- 事業継承で必要とされる融資の補正予算について

その他の項目



令和2年定例会2月議会

代表質問

墨田区議会議員

加藤 拓

令和2年度予算案の事業について

問 施政方針では、令和2年度の主要事業として子育て支援の充実が述べられた。予算案では、新規の保育所整備が南部2か所の小規模保育所整備に留まる一方で、産後ケア事業の拡充や、保育施設に対する巡回調査・指導の強化など、保育の質の向上に関わる事業が強化されている。今後の子育て支援の考え方、待機児童対策の方針は。

答 待機児童解消のための保育定員の拡大については、引き続き優先課題として取り組んでいく必要があると考えている。来年度については、先に推計した児童人口及び保育需要に対応できるように計画した。引き続き推移を注視しながら、必要に応じて対策を講じていく。

併せて、指導検査の体制を強化し、保育の質の確保・向上を図る。今後の子育て支援策としては、「子どもの最善の利益」の優先

を目指すべく、家庭での子育てに対しても、産後ケア事業の拡充、文花・両国の両子育てひろばの再整備、子育て支援活動活性化事業等による支援策の一層の充実を図っていく。

問 令和2年度予算案では、産業振興施策において、すみだビジネスサポートセンターの拡充や、ベンチャー企業と区内企業の連携促進、モノづくりスタートルアップの連携促進など、区外の企業との連携や起業の誘致等、新たなビジネスを区内に呼び込む施策の拡充が強調されている。今年度の区議会では、昼間人口比率のあり方について議論がなされてきた。

① 予算案の事業は、後期計画において昼間人口の増加を目指す方向性の先鞭となるものと理解してよいのか。② 区内の未利用公有地の産業施策での活用について現在の検討状況は。

答 昼間人口の視点については、まちの活力を維持・向上さ

せていくために不可欠であると考えており、適正な昼間人口比率が将来のまちづくりの重要な要素となると認識している。

① 昼間人口や関係人口の増加を図るうえで、産業振興は効果的な施策であり、今後の方向性として「産業振興を通じたまちづくり」という考え方のもと、予算案で示した取組はその先鞭となるものと考えている。

② 産業施策での区内未利用公有地の活用については、新たな産業振興モデルの創出やまちの賑わい、昼間人口の増加等を図る観点から、錦糸土木事務所跡地を候補地として選定し、事業化を進めていく。

大学誘致について

問 1月30日、跡地・まちづくりに関する住民協議会において、千葉大学及び情報経営イノベーション専門職大学(「IU」)から、まちづくりに関する具体的な提案や、食堂や図書館の地域開放が提案され、地域住民も歓迎した。一方で、地域に対する具体的な貢献を求める声も相次いだ。管理運営に当たっての区民の雇用や、区内事業者からの食堂の食材調達や地域商店との連携など、具体的な取組みを区としても求めるべきではないか。

答 IUでは運営にあたり地元企業を活用するほか、雇用の面においても、区民を積極的に採

用する方針であると聞いています。地域経済活性化の面からも、食材調達や近隣商店街との連携は重要であるので積極的に申し入れを行っていく。

問 千葉大学とIUとは良好かつ緊密な連絡関係がある。これを踏まえて区と両大学それぞれで締結してきた包括連携協定について、三者間協定も含めた協定のあり方を再検討すべきではないか。

答 「大学のあるまちづくり」が本格始動するにあたり、区及び両大学がより緊密に連携し、相乗効果を発揮できる体制の整備が必要であると考えており、三者協定等も視野に入れ、両大学と協議していく。

問 新年度予算案では、公・民・学連携組織「アーバンデザインセンター(略称:UDC)」の準備組織立上げについての予算が組まれている。UDCの具体的な構想と地域への効果は。

答 UDCは、公・民・学連携のプラットフォームとして、全国で様々なまちづくりの実践事例があり、こうした取り組みを参考に、「すみだ型のUDC」を目指していきたい。

現在、UDCの知見を有する千葉大学と空き家対策や地域コミュニティの活性化等、本区の地域特性に応じたあり方についての協議を進めている。今後の

交流と実践、活動を行っていく取組が、新たなまちづくりの場となり、まちづくりや地域の活性化に貢献するものと考えている。

新型コロナウイルス感染症への対策について

問 新型コロナウイルス感染症への対応については、①十分な体制を構築することを期待している。現状は。②東京都や厚生労働省には、必要な事項が発生した際には、現場からの声として適切な要求を行うように。

答 ①危機管理対策本部を立ち上げ、迅速な対策が図れるよう、全庁を挙げて取り組み、感染症対策に万全を期す。

②経済的な影響を受けた中小企業への支援や、国内検査体制の強化など、国の緊急対策等の動向を注視しつつ、随時、国や都府県に対し要望を伝えていく。

その他、令和2年度の施政方針と予算編成について、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会について、本区の内部統制への対応について、台風等による大規模水害対策について、教育環境の整備について質問した。

